2025年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<健康科学科>

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
基礎ゼミナールⅢ (健B)	2	小学校で29年の教員経験、および、中学校・高等学校において11年、スクールカウンセラーとして業務に従事した経験があり、その実務経験をいかして授業を行う。
基礎ゼミナールⅢ (健C)	2	担当教員は、小学校養護教諭として5年間、小学校教諭として5年間、公認心理師として2年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
基礎ゼミナールⅢ (健F)	2	幼稚園、小学校、高等学校において養護教諭として20年業務に従事した経験があり、その実務経験を生かした授業となっている。
基礎ゼミナールⅣ (健B)	2	小学校で29年の教員経験、および、中学校・高等学校において11年、スクールカウンセラーとして業務に従事した経験があり、その実務経験をいかして授業を行う。
基礎ゼミナールⅣ (健C)	2	担当教員は、小学校養護教諭として5年間、小学校教諭として5年間、公認心理師として2年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
基礎ゼミナールⅣ (健F)	2	幼稚園、小学校、高等学校において養護教諭として業務に20年間従事した経験があり、その実務経験を生かした授業となっている。
社会学	2	医療機関にて社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会学に関連する知識や視点等についての授業を行う。
経済学	2	NPOや一般企業での勤務経験、また現在、市民セクターと企業セクターの協働の実践の構築の経験が10年ある。それらの実務経験を活かして、社会福祉の学びが一般企業においてどのように生かされるのかを実践の紹介を交えて講義をおこなう。
日本史	2	国公立小学校、大阪府教育センターにおいて社会科学習を担当した経験があり、その実務経験を活かして日本の歴史に関わる知識を広げ、歴史の見方・考え方についての理解を深める。
保健体育 (A)	2	主として小学校において、教諭及び管理職として業務に従事した経験(37年間)があり、その実務経験を活かして、学校現場や児童・生徒の実態や様子も踏まえながら、より具体的な授業を行う。
体育実技 (D)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
体育実技 (E)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
体育実技 (F)	1	石川：高等専門学校教員(4年半)、西里：高校・大学トレーナー(10年)
オーラルコミュニケーション	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、実践的な英語力を修得するための授業を行う。
総合教養	2	(福祉創造学科 加藤友野) 総合病院などにおいて看護師として23年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして終末期に関する法的根拠、心身の変化などの知識、支援方法についての授業を行う。 (福祉栄養学科 伯井朋子) 保健所や健康増進施設等で30年公衆栄養業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして「栄養と健康」についての授業を行う。 (リハビリテーション学科 重森健太) 地域理学療法分野で25年。
カウンセリング論	2	講師は社会福祉士及び公認心理師、臨床心理士の有資格者であり、教育機関では小学校・中学校・高等学校でスクールカウンセラーとして勤務し、その他、医療・福祉機関等においても児童またはその保護者に対する支援を行ってきた(実務経験16年)。こども・若者に関するカウンセリングとしてひきこもり、不登校、発達障害、不安症、うつ病における認知行動療法、またはその家族に対する家族療法を専門としてきた、近年では統合療法として関係性を中心としたアプローチを行っている。学校現場においては児童生徒やその家族、他の教職員との信頼関係の形成は欠かせないため、その方法論についても折に触れる。
心理療法各論	2	小学校での29年の教員経験および、中学校・高等学校において11年、スクールカウンセラーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、生徒理解および心的援助に役立つ心理療法の授業を行う。
心理学的支援法 (健)	2	科目担当の長見まき子は医療機関で個別心理支援、労働衛生機関のEAP部門で個人および組織を対象とした心理支援業務の経験がのべ33年あり、その実務経験を活かして心理学的支援についての授業を行う。

人体の構造と機能及び疾病 (健)	2	担当教員は小児科専門医として臨床経験が豊富である
健康管理学	2	病院・保育室・老健施設看護師実務経験と高校教員実務経験での事例も適宜提示する
福祉心理学	2	・公認心理師の資格を持ち、市町村保健センターの障害児者相談員や障害児者相談支援専門員での発達障害・精神障害などへの心理・福祉相談援助の実践経験から多職種連携のあり方や社会資源の活用の仕方など心理職と他の専門職との協働のあり方について教授する。 ・スクールソーシャルワーカー、高校教員、保育所保育士、障害児通所施設保育士の実践経験を通して子ども支援のあり方、特に教育・福祉・医療との連携の重要性について教授する。
産業保健概論	2	担当者の1人福田早苗は学校法人において衛生管理者に10年間従事した経験があり、その実務経験を活かして、安全衛生に関連する授業を行う。
教育・学校心理学	2	担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務の従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。
公認心理師の職責	2	科目担当者は、公認心理師資格を有し、過去に「司法・犯罪分野」での実践活動がある。
ストレスマネジメント	2	小学校での29年の教員経験および、中学校・高等学校において11年、スクールカウンセラーとして業務に従事した経験があり、その実務経験をいかしてストレスマネジメントに関する授業を行う。
労働衛生学Ⅰ	2	担当者福田早苗は学校法人において衛生管理者に10年間従事した経験があり、その実務経験を活かして、安全衛生に関連する授業を行う。
労働衛生学Ⅱ	2	担当者の福田早苗は学校法人において衛生管理者に従事した経験が10年間あり、その実務経験を活かして、安全衛生に関連する授業を行う。
衛生学	2	担当者の福田早苗は学校法人において衛生管理者に10年従事した経験があり、その実務経験を活かして、安全衛生に関連する授業を行う。
臨床医学	2	小児科医師 小児科専門医として臨床経験豊富
小児疾患総論	2	担当教員は小児科専門医として臨床経験豊富である
小児疾患各論Ⅰ	2	小児科専門医として臨床経験は豊富である
小児疾患各論Ⅱ	2	担当教員は小児科専門医として臨床経験が豊富である
健康教育学原論（健）	2	幼稚園、小学校、高等学校において養護教諭として20年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かした授業となっている。
養護概説	2	担当教員は、小学校養護教諭として5年間、小学校教諭として5年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
看護学概論	2	病院・保育室・老健施設看護師実務経験と高校教員実務経験での事例も適宜提示する
看護技術ⅠA	2	病院・保育室・老健施設看護師実務経験と高校教員実務経験での事例も適宜提示する
看護技術ⅠB	2	病院・保育室・老健施設看護師実務経験と高校教員実務経験での事例も適宜提示する

看護技術Ⅱ A	2	担当教員（山本）は、幼稚園・小学校、高等学校の養護教諭として20年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（前田）は、小学校の養護教諭として5年間、小学校の教諭として5年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
看護技術Ⅱ B	2	担当教員（山本）は、幼稚園・小学校、高等学校の養護教諭として20年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（前田）は、小学校の養護教諭として5年間、小学校の教諭として5年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
看護臨床実習	3	病院・老健施設・障害児施設・保育室看護師実務経験での事例も適宜提示する
救急処置Ⅰ	2	病院・保育室・老健施設看護師実務経験と高校教員実務経験での事例も適宜提示する
救急処置Ⅱ	2	病院・障害児施設看護師の実務経験30年間で経験した事例の提示をして説明する。
学校精神保健	2	担当教員は、公認心理師として2年間、小学校養護教諭として5年間、小学校教諭として5年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
学校保健	2	病院・障害児施設看護師実務30年間で経験した事例の提示がある。
養護活動論Ⅰ	2	病院・障害児施設看護師実務30年間で経験した事例の提示がある。
養護活動論Ⅱ	2	指導教員は、小学校養護教諭として5年間、小学校教諭として5年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
健康相談活動論	2	病院・障害児施設看護師実務30年間で経験した事例の提示がある。
健康行動評価・測定実習	2	担当者の一人である長見まき子は労働衛生機関において20年業務に従事しストレス対策・ストレス予防教育・ストレス対処指導の経験があり、その実務経験を活かしてストレスに関連する授業を行う。
養護実践演習	2	担当教員（山本）は、幼稚園・小学校・高等学校の養護教諭として20年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（前田）は、小学校の養護教諭として5年間、小学校の教諭として5年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
公衆衛生学（健）	2	・担当者の福田早苗は学校法人において衛生管理者に10年間従事した経験があり、その実務経験を活かして、安全衛生に関連する授業を行う。 ・1年間研究所において統計解析や疫学研究に従事した経験を踏まえて授業を実施する。
司法・犯罪心理学	2	担当教員は、14年間に渡り裁判所での勤務歴があると同時に家庭裁判所調査官の資格を有する者であり、現場に即した講義の展開を目指す。
養護入門	2	担当教員（山本）は、幼稚園・小学校、高等学校の養護教諭として20年、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（前田）は、小学校教諭として5年、小学校養護教諭として5年、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（河合）は、小学校教諭として29年、中学校・高等学校のスクールカウンセラーとして11年、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
研究演習Ⅲ（健E）	2	小児科医師として臨床経験あり。 脳波については小児神経疾患の検索のために豊富な臨床経験を持っている。
社会保障Ⅰ	2	医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会保障と生活の関連や施策の立案等について授業を行う。
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
児童福祉論Ⅰ（健）	2	講師は社会福祉士及び公認心理師、臨床心理士の有資格者であり、教育機関では小学校・中学校・高等学校でスクールカウンセラーとして勤務し、その他、医療・福祉機関等においても児童またはその保護者に対する支援を行ってきた(実務経験16年)。また特定非営利活動法人の理事長として様々な児童福祉に関する事業を立ち上げてきた。実務経験を活かし、具体的な事例等を交えて授業を行う。

障害者福祉論Ⅰ（健）	2	特別支援学校において教諭や進路指導主事として22年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、障害の多様性や福祉、就労施策などについて授業を行う。
障害者福祉論Ⅱ（健）	2	講師は社会福祉士及び公認心理師、臨床心理士の有資格者であり、教育機関では小学校・中学校・高等学校でスクールカウンセラーとして勤務し、その他、医療・福祉機関等においても障害児・者およびその保護者に対する心理支援や就労支援を行ってきた。また特定非営利活動法人の理事長として障害がある児童を対象とした放課後等デイサービスを運営してきた。障害者においては障害者職業センターの委員、他団体の障害者生活訓練・就労移行支援事業の顧問及び支援者として従事してきた。講師の実践経験（16年）をもとに、具体的な事例等を交えて授業を行う。
社会・集団・家族心理学（健）	2	担当教員の一人(河合)は、小学校教諭として29年、スクールカウンセラーとして11年、業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、家族や対人に関わる事項の授業を行う。
健康・医療心理学（健）	2	小学校で29年の教員経験、および、中学校・高等学校において11年、スクールカウンセラーとして業務に従事した経験があり、その実務経験をいかして、多職種連携についての重要性を授業でも扱う。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（A）	2	自治体における福祉施設の整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定に関する委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして、福祉の現場で求められるソーシャルワーカーの価値や倫理、専門的な視点や方法についての授業を行います。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（B）	2	自治体における福祉施設の整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定に関する委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして、福祉の現場で求められるソーシャルワーカーの価値や倫理、専門的な視点や方法についての授業を行います。
心理的アセスメントⅠ（健）	1	科目担当の長見まき子は医療機関および労働衛生機関のEAP部門で33年にわたって心理臨床業務に携わった経験を有し、実務経験を活かして心理アセスメントの授業を行う。
心理学研究法Ⅰ（健）	2	小学校での教員経験および、中学校・高等学校においてスクールカウンセラーとして業務に従事した経験があり、その実務経験をいかして面接法と心理検査についての授業を行う（河合）。
心理演習（健）	1	・担当者の一人の河合篤史は、小学校で29年の教員経験および、中学校・高等学校において11年、スクールカウンセラーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、子どもや母親の心理的支援に関する演習授業を行う。 ・担当者の一人の長見まき子は、医療機関および労働衛生機関のEAP部門にて心理職として33年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして傾聴スキルに関する演習授業を行う。
養護実習	5	担当教員（山本）は、幼稚園、小学校、高等学校の養護教諭として20年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（前田）は、小学校の養護教諭として5年間、小学校の教諭として5年間に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
教職実践演習（養護教諭）A	2	担当教員（山本）は、幼稚園、小学校、高等学校の養護教諭として20年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（前田）は、小学校の養護教諭として5年間、小学校の教諭として5年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
教職実践演習（養護教諭）B	2	担当教員（山本）は、幼稚園、小学校、高等学校の養護教諭として20年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。 担当教員（前田）は、小学校の養護教諭として5年間、小学校の教諭として5年間教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
保健科指導法Ⅰ	2	幼稚園・小学校・高等学校において20年間養護教諭として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして保健指導の作成、実施、評価についての授業を行う。
保健科指導法Ⅱ	2	担当教員は、小学校教諭として5年間、小学校養護教諭として5年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
保健科指導法Ⅲ	2	担当教員は、小学校養護教諭として5年間、小学校教諭として5年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
保健科指導法Ⅳ	2	担当教員の前田は、小学校の教諭として5年間、小学校の養護教諭として5年間、教育に携わった経験があり、それを生かした授業となっている。
心理実習（健）	2	・担当者の一人の長見まき子は保健・医療領域（地域の医療機関）および産業・労働領域（労働衛生機関のEAP部門、関西福祉科学大学EAP研究所でのリワーク業務）での33年の勤務経験があり、その実務経験をもとに保健医療分野や産業労働分野に関する授業や見学実習の引率指導を行う。 ・担当者の一人の河合篤史は、29年の小学校での教員経験、中学校・高等学校においてスクールカウンセラーとして11年業務に従事した経験があり、その実務経験をもとに教育分野に関する授業や見学実習の引率指導を行う。 ・担当者の一人の松中久美子は産業・労働領域（関西福祉科学大学EAP研究所でのリワーク業務）での実務経験が3年あり、その実務経験をもとに見学実習の引率指導を行う。